



宮城県業務説明会 行政

Miyagi
Prefectural
Government

行政職の仕事

庶務や予算、経理、県税の賦課徴収、用地交渉、企画等の行政事務

配属先

本庁各課
地方機関（県税事務所、地方振興事務所、保健福祉事務所など）

自己紹介

埼玉県出身

H27.3月 県外（埼玉県）高校卒業

H31.3月 県内大学（法学部）卒業

H31.4月～ 大河原地方振興事務所農業農村整備部管理指導班

土地改良事業に伴う用地買収・補償、土地改良区の監査・指導等

R4.4月～ 保健福祉部 精神保健推進室 精神保健推進班

自死対策関連補助金、措置入院等の精神保健福祉法の施行に関すること等

R7.4月～ 総務部 職員厚生課 企画管理班

2階食堂のリニューアル、職員宿舎の管理等

志望動機

なぜ公務員だった？

- ① 大学で学んだことを生かせる仕事
- ② 安定した職場

なんで宮城県庁を選んだ？

- ① 対人業務の少なさ（県庁を選んだ理由）
- ② 宮城県の魅力（宮城県を選んだ理由）

担当した仕事（R1～R3）

大河原地方振興事務所農業農村整備部管理指導班

- ・土地改良事業に伴う用地買収・補償
- ・土地改良区の監査・指導
- ・土地改良財産の管理



担当業務

- ・用地交渉（地域住民の方がお相手）
- ・ダムカードの作成



担当した仕事（R4～R6）

保健福祉部 精神保健推進室 精神保健推進班

精神障害者に対する施策全般を行っています。

担当業務

- ・ 自死対策関連補助金
- ・ 措置入院等の精神保健福祉法の施行に関すること等



担当した仕事（R7～）

総務部職員厚生課 企画管理班

食堂・合庁無人コンビニ、
職員宿舎の管理等をしています。

担当業務

- ・ 2階食堂のリニューアル
- ・ 職員宿舎の管理



大変だったこと

- ①一般の県民の方からの問い合わせ対応
→わかりやすく理解できるように説明する必要
- ②災害等での緊急の案件
→地震・大雨のほか鳥インフルや豚熱なども…

やりがい、心掛けていること

【やりがい】
県民や職員のためになる仕事！

【心掛けていること】
分からないときは、とにかく相談！

1日のスケジュール

8:30 出勤

9:00 下愛子寮へ出発
(退居修繕や内覧など…)

12:00 昼休み

13:00 帰庁

業務委託の資料確認や宿
舎料徴収の手続きなど

随時
食堂や宿舎に関する
問い合わせの対応

17:15 退勤

働き方・休み方

【働き方】

繁忙期もありますが、
有給休暇は柔軟に取れます。
メリハリのある働き方が大事！

【休み方】

月曜や金曜に有給休暇を取って
旅行に行くこともあります。



入庁前のイメージとギャップ

【イメージ】

- ・ 県庁の中でデスクワークが中心
- ・ 県民との距離は遠い

【ギャップ】

- ・ 部署によっては現場に出ることが多い
地域住民と直接お話しする機会も

働いて感じる宮城県職員の魅力

優しい人が多く、分からないことを相談したら親身に聞いてくれ、アドバイスしてくれる先輩・上司の人が多く感じています。

県としてDXを推進していて、デジタル化が進んでいるところも。

私の公務員試験対策

大学の公務員試験講座の範囲で勉強していました。

- ・座学（得意を伸ばす＆苦手は見極め）
- ・集団討論（チームとしてのバランス感覚）
- ・個別面接（自己分析を大事に）

みなさんへのメッセージ

県庁はいろんな業務を経験できる部署がたくさんあります。

どんな仕事も向き・不向きがあると思いますので、たくさん情報収集をして、後悔のない就職活動をしてください！！